

## 健康状態の分析方法

福山市立女短大      ○加納三千子      奥山清美      津川淳      三谷璋子  
                          倉田美恵      土屋房江      鈴木雅子

目的 健康状態の質問項目を全身的症状（食欲不振、頭痛、めまい、けん怠感、不眠、風邪）、部分的症状（目、鼻、のど）、既応症（じん臓病、肝臓病、胃腸病、婦人病）、に分けた。次に生活状況及び栄養摂取状況との関連をみると、健康状態の中で特に全身的症状との関連性がみられた。本報では、健康状態把握の目安となるものとして、質問項目の得点化およびその分類による方法論を検討した。

方法及び結果 全身的症状における各質問項目（食欲不振、頭痛、めまい、けん怠感、不眠）の回答を得点化し、その得点の特徴によりいくつかのタイプに分類し、検討した。

従来、得点化を行う場合には相加法と相乘法とがとられている。そこで、全身的症状の各質問項目の回答に等配分の得点数を与え、相加及び相乘法により得点化を試みた。

今回我々は、まず相加及び相乘法による得点を正規分布するように五段階に分類した。その結果、相乘法では点数の開きが大きすぎ、相加法の方が得点区分がしやすかった。また、相加法でも、同得点にいくつもの組み合わせがあるので、回答により配点の重みをかえて得点化を行った。

次に、タイプ分けとしては、得点数のみでなく、その組み合わせ例も考慮して7タイプに分類した。このタイプと全身的症状、部分的症状、既応症の各項目との間にはそれぞれ関連性が認められた。したがって、この方法は健康状態把握の目安となり得ると考えられる。